



子どもだけで北海道！
当時、小・中学生の
山村留学も
話題になり始めていた。



知人から見せられた
パンフレット。
「子どもの村」キャンプ、
北海道・滝上とあった。

夏休み、兄弟だけで
旅に出すように
なったきっかけは



心配という新たな問題は
出てくるが、とにかく
口うるさい親ではなくなる。



目の前に居なければ、
口出しすることもない。

長い夏休み、
一日中姿を見ていたら
なんやかや言いたくなるのは
当然だ。



そこには
本当の意味で
子どもの自由が
あるように思った。

ルールだらけの日常から
解き放つてやるのは、
短期間でもいいことに違いないと思った。

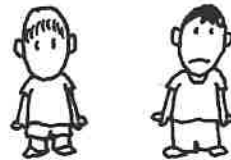


そして兄弟二人で、
参加させる事に決めた。



事前説明会が大阪で
行われるというので
一家で聞きに行った。

このキャンプは
業者など介在せず、
二週間〜一カ月という長期間の
割には参加費も安かった。



兄・三年生、弟・一年生。
二人ともまだ本当に
小柄な小学生だった。



とはいえ、
よく分からないところに
ただ放り出すという
わけにはいかない。

半月後、
二人は痩せて
へ口へ口になって戻ってきた。



とは言っても、このキャンプで
彼らがアウトドアに目覚めた
なんて話ではない。



五十歳近くなった息子達の中に
今も、大きな財産として
生きている。



このキャンプは四十年以上前から
現在まで、創立者徳村夫妻から
後継者によって受け継がれている。

そして



と宣言した。

しかし別の形の旅行を翌年の夏休みから兄弟ですることになった。



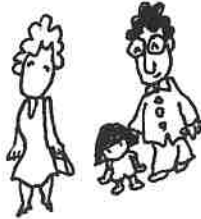
能登半島、北九州と、ユースホステルを使って兄弟の夏休み旅は続いた。



そして五年後には、自分達の意思でリベンジに北海道に向かった。



この流れで私は混雑した夏休みの家族サービスというノルマから解放された。



親の運転する車の中でずっと寝ていて、

目的地に準備されたイベントに参加させているだけでは、子どもにさせたい体験は十分ではない。



よく言われるように、旅は人生のミニチュアのような。

予定外の事態がしばしば起きる。



それをどう切り抜けるか、子どもであっても当事者の裁量である。

いつも親だけに守られている人は、世界をそういうものだとして学んで生きる。



そうではない体験の蓄積が、子どもの人生のその後に影響を持つのは当然だ。

だから「可愛い子には旅をさせよ」と、昔の人は言ったのである。



もともと「ロバが旅をしたから」といって馬になって戻ってくる訳ではない」とも言う。

全くその通りだ。



自由に旅のできるロバに育てておくのが良からうというだけの話である。



“木陰の物語”
広がる! プロジェクト



<https://honblock.net/kokage/>

「木陰の物語」を読んだ感想や、あなた自身の物語をお寄せください。

共働き家庭の家事の大半は
母方祖母が長年担って
くれているが同居ではない。



姉（高二）と、
弟（中二）がいて、
共に別の名門私学に
通っている。

両親はそれぞれ、
関西の有名私立校の教員。



家族が出かけた後、
掃除、洗濯、
夕飯の支度をする。



郊外の一戸建てに暮らす
一家のところに、
定期券で毎日通勤した。



一人娘が教職に就き、
結婚して子どもを産んだ。



母（祖母）は喜んで
孫育ての応援を
買って出た。



早朝に自宅を出て、
娘の家に行く。



そんな日々
に
変調が起きたのは、
母（祖母）が体調を
崩したからだだった。

娘の夫と顔を合わすと、
気を遣わせるだろうと、
会わないようにしてきた。



こんな生活を
十五年続けてきた。



夕刻、帰宅した孫達と
入れ替わりに帰路につく。

当然のことながら
十五年続いた生活の段取りは
変化した。



それに応えて
父方祖母が来るようになった。



その結果、両親がとった対策は、
父方実家への支援要請だった。



思いがけず長患いになって、
一家の生活は混乱した。



家事全般の
段取り変化への
不満を夫にぶつけた。

しかし、
私学教員ネットワークの中で、
子ども達の問題が噂されるのが
耐えられない妻は



両親の勤務校とは
別である。



そんな中、
姉弟がそれぞれ、
学校で問題を起こした。



自分達の暮らしの
ための
使い捨てである。

この夫婦には、
長年来てくれていた祖母へも、
急遽来てくれた祖母へも気遣いはない。



そう告げて来なくなった。



「向こうのお母さんに、
してもらいなさい」

「そんなことを言われるのなら、
私はもう来ません」



それを受けて夫は、
自分の母親に注文をつけた。

絶句である。
聞いていられなかった。



夫は「子ども達の
問題行動の原因は
おそらく…」等と
教員口調で解釈を語る。

そして続けて、
働く女性の大変さを語る。



妻は面談でそれを
「甘えてばかりで…」
と口先反省風に言っ済ます。



看病中の祖父は、
何も言わないらしい。

“木陰の物語”
広がる! プロジェクト



<https://honblock.net/kokage/>

「木陰の物語」を読んだ感想や、
あなた自身の物語をお寄せください。



「権利」と「自分の都合だけ」は
違うと思うのだが。

子ども達は
この両親を見て育ち、
今、病んでいる。



支えてくれている人への
感謝も労いもない。

どうしてこんな
身勝手ばかり、
口に出来るの
だろう。

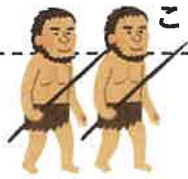


みなさんこんにちは。

こどものとも社の高林信作と申します。

原町幼稚園さんに福音館書店の月刊絵本『こどものとも』をお届けしています。

ここでは、人類史の話をベースに、書籍や絵本の紹介をしていきたいと思います。



続・ネアンデルタール人とはいったい何者か？

前回登場したネアンデルタール人は、19世紀初めにベルギーとイベリア半島最南端のジブラルタルで発見されました。しかし当時はそれらがなんの化石かわからなかったようです。そして1856年にドイツのデュッセルドルフ郊外のネアンデル渓谷で発見された化石を調べた結果、ホモ・サピエンスとは別の人類化石であると発表されました。その後の発見により、ネアンデルタール人はヨーロッパから西アジア、シベリア西部にわたるユーラシア大陸の西半分に分布していたことがわかっています。

ホモ・ネアンデルターレンシス（ネアンデル谷出身の人）は私たちサピエンスよりも大柄でがっちりとした体格をしていました。氷河期のユーラシア大陸西部の寒冷な気候にも耐えられる体をしていて、動物の皮を加工して体の80パーセントを覆える衣服を作っていたと考えられています。



火の使用

フランスのドルドーニュ洞窟やブリュニケル洞窟からは炉の跡が見つかっていて、おそらく火を使っていたと考えられています。ただ火を起こす方法を知っていたかどうかの決定的な証拠は見つかっていないようです。

言語

ネアンデルタール人は喉頭が高い位置にあり、舌の動きが制限されるため発声の音域が限られていたと考えられています。ただ老人の世話や死者の埋葬など社会行動がみられるため初歩的な言語形式が存在したとされています。

狩猟

小集団で大型の哺乳類を狩猟していたと考えられています。ただ投槍や弓矢等の飛び道具はあまり使用しておらず、常に接近戦で狩りをしていたため死亡のリスクも高かったようです。



文化と福祉

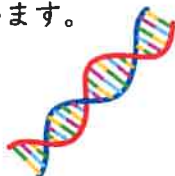
ネアンデルタール人の遺跡からは、手足が不自由であっただろう遺骨や、ダウン症で難聴や平均感覚の問題を抱えていた子どもが6歳まで生きたと考えられる側頭骨が見つかっています。このことから、ネアンデルタール人が複数で介護や養育を行っており福祉の精神を持った人類だったと考えられます。

死者の埋葬に関しても意図的に埋めた形跡があり、その周りには8種類もの花の花粉が見つかったそうです。死者に花を手向けた最初的人类がネアンデルタール人なのです。



ネアンデルタール人の遺伝子

2021年に『新型コロナ“重症化を予防する”遺伝子』としてネアンデルタール人が注目されました。ネアンデルタール人由来の遺伝子が新型コロナの重症化を防ぐというニュースでした。日本人もおよそ30パーセントの人が保有しているそうです。ただ逆にネアンデルタール人由来の遺伝子は重症化のリスクを2倍にする遺伝子もあるそうです。この負の遺伝子はヨーロッパや南アジアの人が持っていて、日本、中国、東アジアの人々は持っていないとされています。



私たち現代人は、絶滅してしまった人類から
様々な大事なものを引き継いでいるのかもしれない。

つづく

世界に飛び立て(4)



孫ちゃんす

こんにちは。はらっぱを通して20年間の子育てを振り返っています。
今回は「娘、専門学校へ行く」です。

中高一貫校からデジタル校へ編入後、やはり自ら勉強をして、課題も期限内に提出、授業を最短で終わらせてからはのんびりと1年間を過ごしました。成績も「上の下」程、親としては「大学に行くか？行かないか？」将来がやや気になり始めたりもしました。ここまでの子育てを通して、気づいた事は娘の人生は娘のものであり親のものでは決してないこと、親の幸せと娘の幸せは決して同じとは限らないこと、何より願う事は娘の幸せであること。

娘と進学について色々話してみると、どうやら美容系に進みたいとの事でした。ヘアメイクアップアーティストになりたいと言うのです。自分の進みたい道は大学では学べない事、大学に行く意味がないとはっきり宣言したのです。ここでも親として試されるわけです。本当に専門でよいのか？大学に行かなくても大丈夫なのか？何が大丈夫なのか問われると答えはありませんが。。。このような話し合いを続けていく中で、私の着地点は、「娘の選択を応援する」でした。今は、生きる道の選択肢が多い時代です。どのような道を選択しても、我が娘が選んだ道ならきっと大丈夫、それが結論でした。

時代は変わりました、沢山の選択肢が用意されている時代、選択肢を自分で作りだせる時代です。どう生きるかは自分次第です、そのことだけを娘と確認した後は応援あるのみです。

娘の進路選択を経て気づいたことは「昔から好きな事が残ってる」ことでした。娘は昔から手先が器用で、細かい作業がとても好きでした。デッサンや裁縫、イケアの家具やキャットタワーの組み立てなど、気が遠くなるほどの細かい部品をわくわくしながら黙々と組み立てるのです。マイ電動工具も持っているほどです。保育園の年少から荷物をリュックに詰める事も好きで、テトリスのように上手に収めていました。改めて娘が選択した進路は、好きな事と得意な事の両方を併せ持ったもののようには思いました。

「そりゃ、好きだよね。」改めて言葉が出てしまいました。

専門学校入学後、細かい作業をとっても楽しそうに取り組んでいます。大変じゃない？と聞くと「全然大変じゃない！楽しいよ！」とても嬉しい言葉です。楽しみながら勉強できるなんて最高に幸せじゃないか！むしろ羨ましいくらいです。親とタイプも趣味も得意な事も全く違う、それが子どもなのだと改めて感じる日々です。

娘よ、卒業までの時間を有意義に過ごして。



花野子が出来るまでの物語 その3

ある日かの子は、部屋のどこかにいつか存在していた
あの自家焙煎経営の本をめくりながら、
「ここに載っているいろいろなお店行ってみようか？
先はみえないけど、一步を踏み出さないと
何も始まらない。まず行ってみようよ。」

12月の日曜日 吉祥寺 杉並 小平
また次の日曜日 小田急線沿い バッハ
また次の日曜日・・・

1日3件、多くて4件が限度、珈琲でお腹が一杯になる、
でも結構楽しい。

色々なお店巡りをしているうちに、“この珈琲おいしいな” “こんな雰囲気いいね” となんとか前向きな気持ちになっていった。そして、いつしか自家焙煎をやろうという気持ちになっていた。最終的にバッハさんか、小田急線沿いの有名店のどちらかに教えていただこうと2人の心は決まった。どちらも美味しかったし、お店もすごく良かったし、どうしたら教えてもらえるんだろうね。

なんて話しながら年の瀬を迎えた。



はらっぱをご覧の皆さんこんにちは。
自家焙煎珈琲屋花野子の齋藤大地と申します。
9月のマルシェに参加させて頂きありがとうございました。
雰囲気も良くとっても楽しい1日でした。
またの開催を楽しみにしております！

さて 年の瀬も近づいて来て、珈琲を贈り物に なんて方もいると思いますが、
そんな時にポイントとして欲しいのが、焙煎度合です。
珈琲の味を決める要素として、生育環境や精製方法 それこそ抽出方法など様々な要素が
ありますが、それらの中でも1番大きく影響を与えるのが焙煎度合です。
焙煎度合とは、簡単に言うと珈琲豆を焼く時間で、細かく分けるとライトロースト
から イタリアンローストまで8段階で分けられます。
花野子では解りやすく 中煎り/中深煎り/深煎り の3段階で表記しています。
珈琲豆は焼く時間が短ければ酸味をより感じ
焼く時間が長ければ苦味をより感じます。
なので酸味が苦手な人に中煎りの珈琲をプレゼントしても喜んでもらえない
なんて事もあり得るので、出来るなら相手の好みの焙煎度合を聞いてから選ぶと
喜んで頂けると思います。
もちろん自分の好みも知っていると、初めて入るお店でも失敗が無いので、
酸味が好き バランスが良いのが好き 苦味が好き ぐらいの
大まかなイメージを持っていると良いでしょう。

中煎り.....珈琲豆本来の果実感や酸味が感じられる

中深煎り.....酸味と苦味のバランスの取れた、1番珈琲らしい珈琲

深煎り.....苦味が強く、後味に甘味を感じられる

ご注文は電話でも 969-2830



お店の様子はこちらから→



リトルスター

冬の訪れを感じる11月、日に日に寒さが厳しくなって行きます。移り変わる季節は、体調管理に気をつけ元気にお過ごしください。

季節的な行事を楽しみながら、たくさんの冬単語を紹介したり、学べる機会を設けていきます。今月もよろしくお願い致します。



the Gingerbread man 絵本のご紹介

ジンジャーブレッドマンが逃げる時のお決まり
フレーズがコレ。

-Run, run, run, as fast as you can. You can't
catch me, I'm the Gingerbread Man!

興味のある方はお家でも
探してみてくださいね♪



Summer Vocabulary 単語とフレーズのご紹介

11月の英語テーマ family (家族)

日本の四季を英語で表現してみましょう

例: what's your favourite seasons and
what do you like to do?

★放課後児童クラブ★ 見学会随時受付中

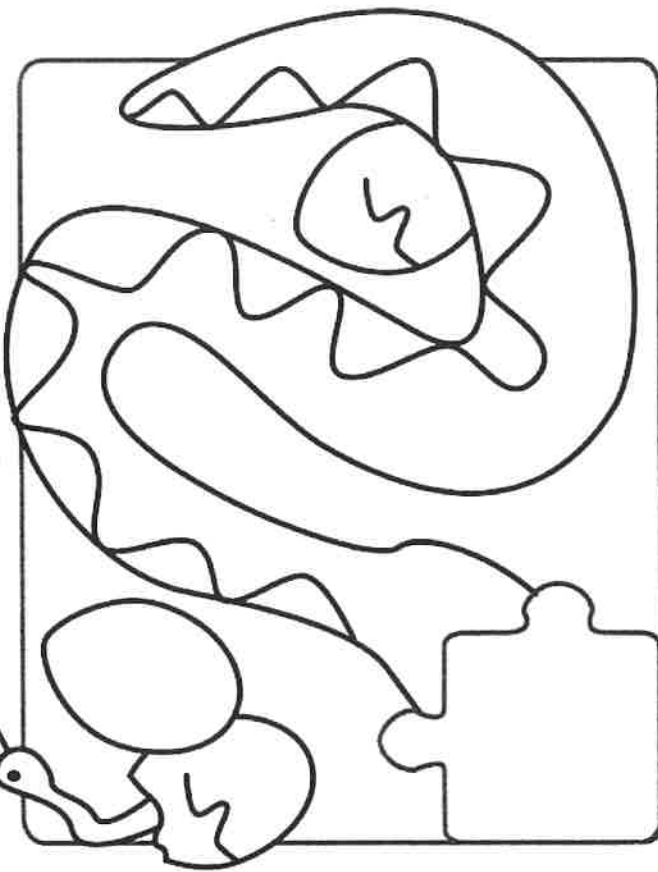
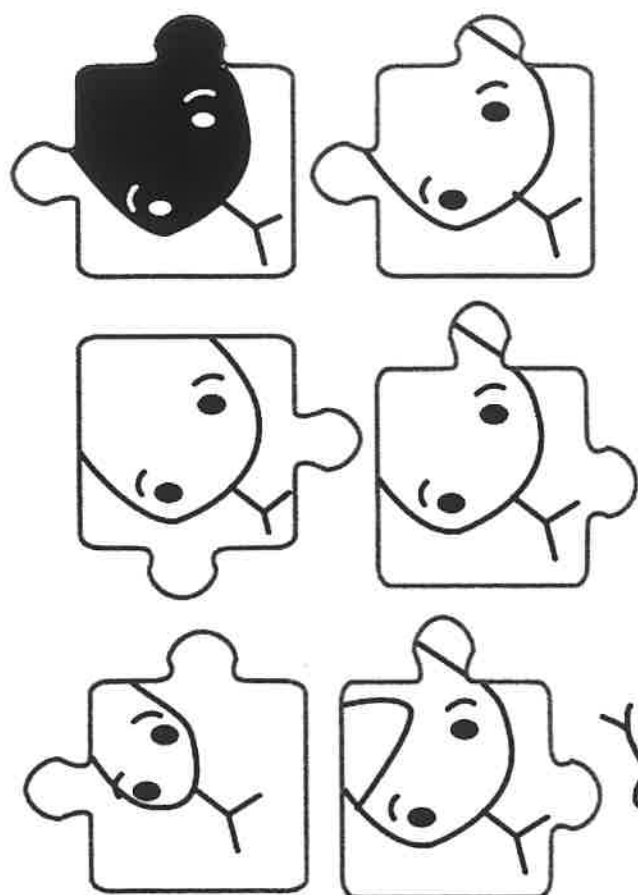
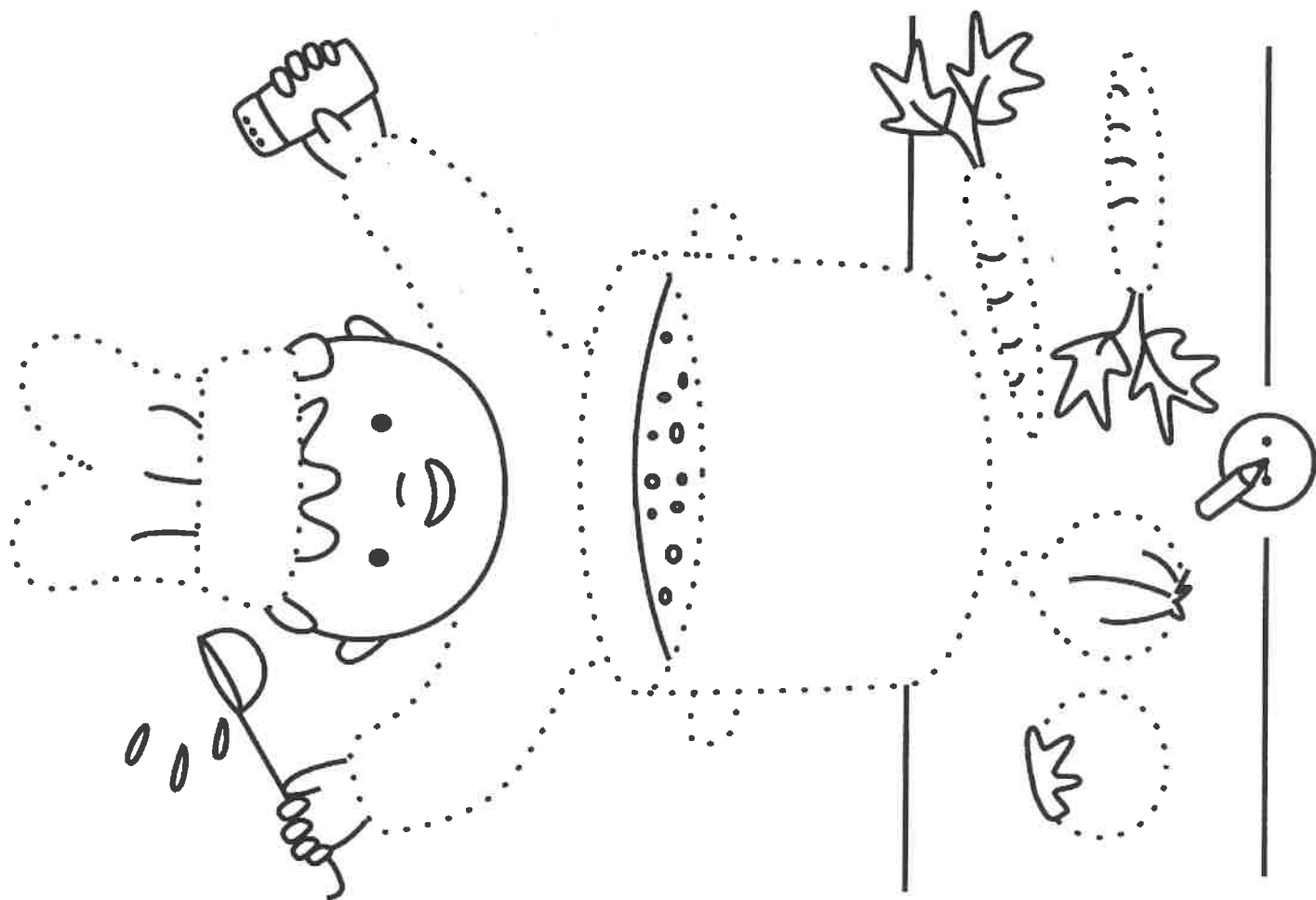
サンカフェEnglish kids club
〒410-0312 沼津市原198-12
料金: 週5利用 16,500円(税込) ~
対象: 小学生1~6年生
送迎エリア: 原小
定員: 30名・登録制
申請方法: 利用申請書
利用時間: 月一金 14:00-18:00
長期特別休暇時: 7:30-18:00
(早朝特別利用時間/7:30-9:00)
(平日延長利用時間/18:00-18:30)

★課外英語教室★ 体験クラスご参加ください

毎週 火・木曜日
対象: 年少さんから年長さん
1回コース¥5,000 (税込み)
※テキスト代別途



リトルスターへのお問い合わせはLineまたはHPまで
<https://www.lscollge.net/>
お気軽にご連絡ください



上田しずか展

「うみ そら はなが 伝えること」

What the sea, sky, flower tell us.



自分や自分の隣にいる人を大切に
それが一番小さくてでも力強い
平和への近道だと信じています

心がしあわせで満たされたら
自然に誰かと分かち合いたいという
気持ちも出てきます

日常の中にある小さなしあわせに気づく
そんな展覧会を目指しました

2024 11.18 (月) → 11.29 (金)

9:30~16:30 (入館は16:00まで)

※11月24日(日)は休館

会場／立命館大学国際平和ミュージアム
2階 ピース・コモンズ

※立命館大学 衣笠キャンパス内



立命館大学国際平和ミュージアム
Kyoto Museum for World Peace, Ritsumeikan University

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1



今日を 今を 大切に生きていますか？

当たり前のように はじまる毎日は
決して当たり前ではなく 貴重なこと

そんな想いを <すいてきちゃん> に託しました

不確かな未来への不安に
心を持っていかれて
今を楽しく生きられないのは
本当に もったいないです

今を大切に 楽しく過ごす先に
しあわせな未来があるんだと思います

青い空に 真っ白な雲 花や緑
広く大きな海 頬をなでる風
自然はいつでも 心を優しく包んでくれます

でも 心が癒されたその瞬間
遠い空の下では
争い事が起こっています

本来ひとつに
つながっているはずの
この空の向こうで 戦いは続き
世界は分断されています



喜 争
び い
の の
涙 涙
を で
は
な
く

同じ空の下で生きているのに
どこから見上げるかで
あまりにも違う人生

かけがえのない日常に感謝し
身近にある自然を感じて
同じ空の向こうを想う

この星に この身体に
命のすいてきが宿っています

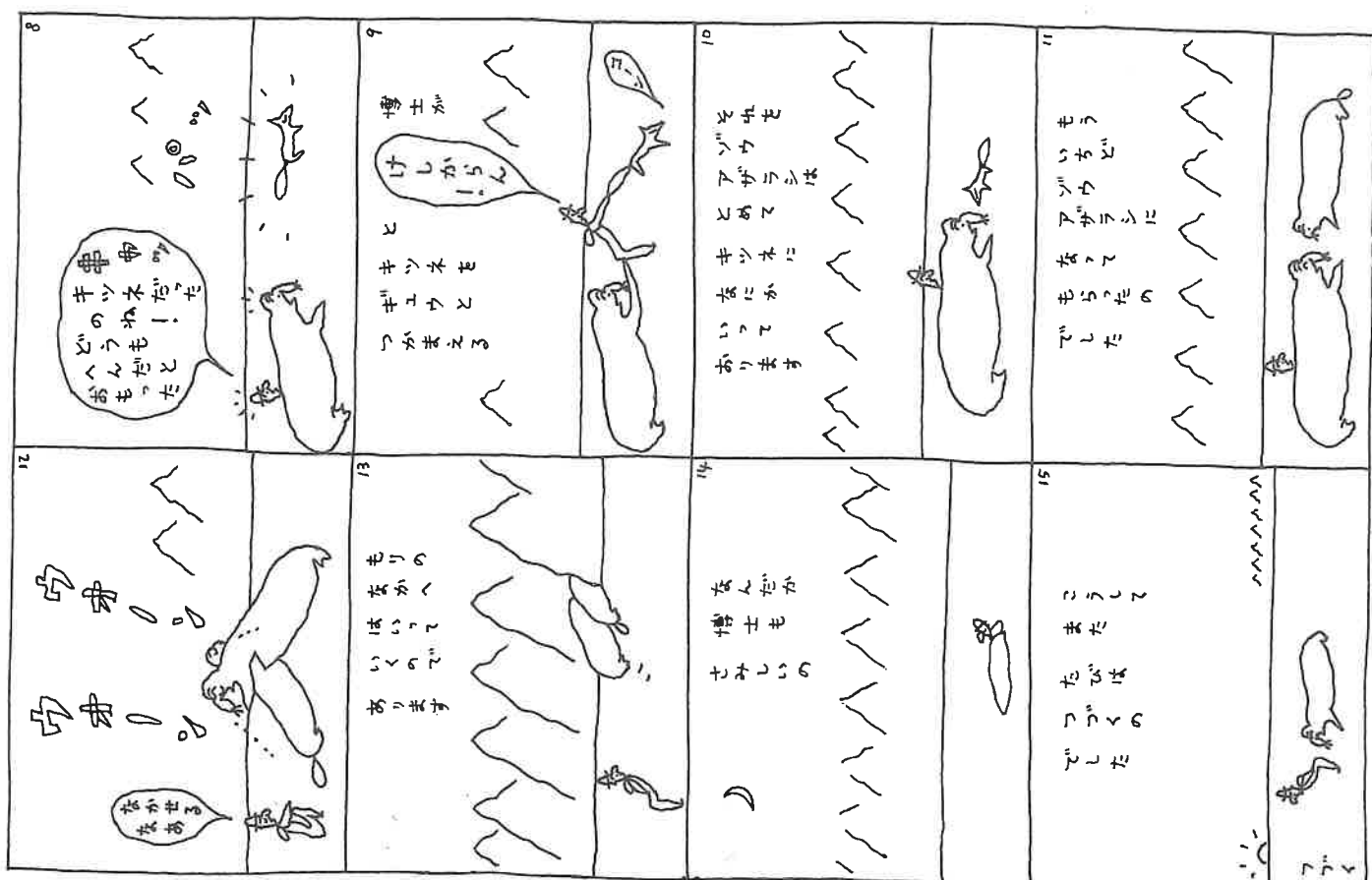
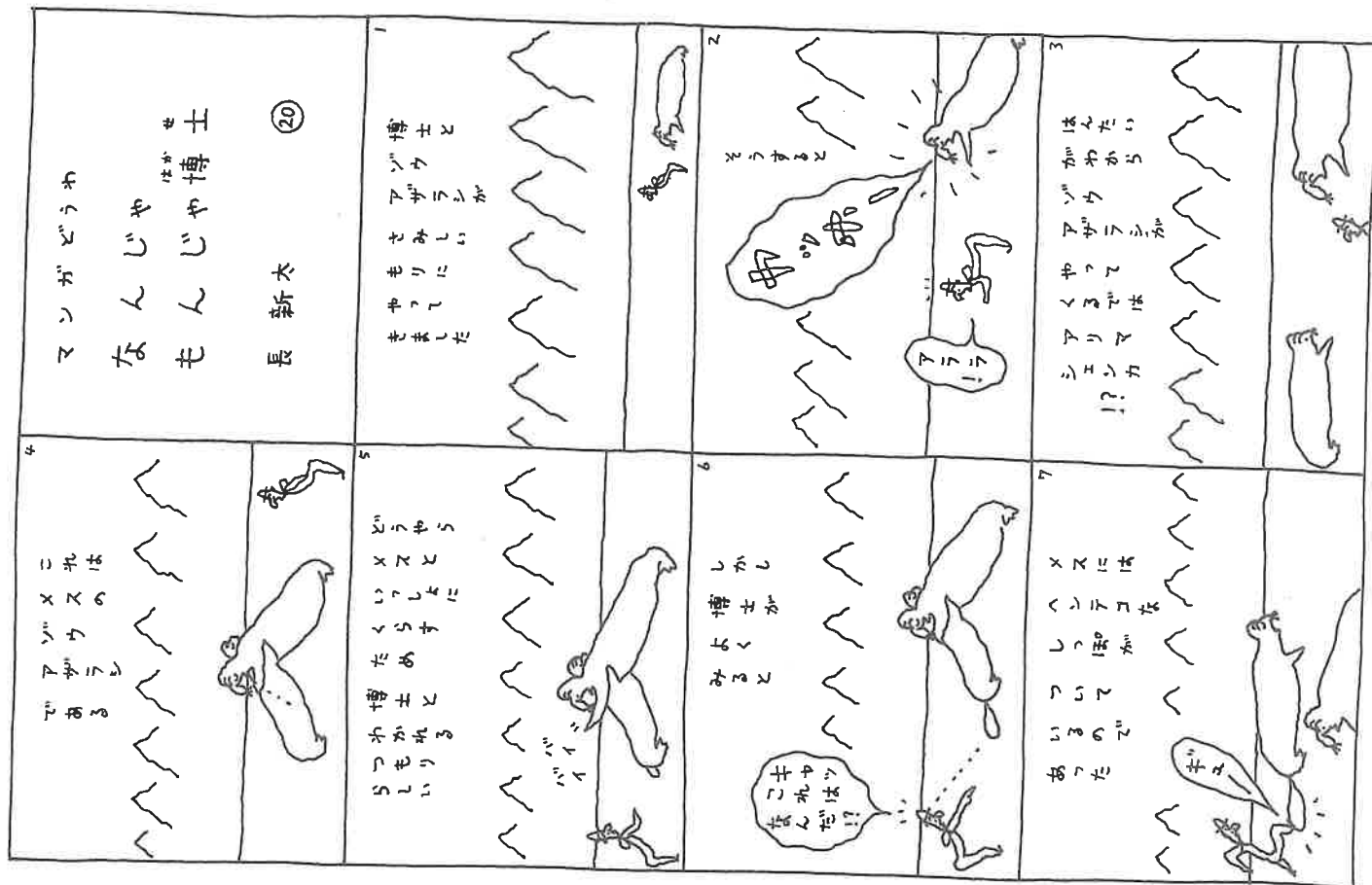
そのすいてきが
悲しい涙で ありませんように

平和への祈りを込めて

【PROFILE】上田しずか

セクスイハウス・メインビジュアル、「なんばパークス」店内柱イラスト、ダイドー清涼飲料水、読売テレビ「土曜はダメよ!」「朝生ワイドす・またん!」「旅ぷら」番組ロゴ&キャラクターなど。雑誌や広告、店内イラスト、キャラクター開発、ショップロゴなど幅広く手がけ、東京やニューヨークでの個展開催やグループ展にも参加しています／大阪モード学園・講師歴5年





運動会感想特集



暑すぎず、寒すぎず、とても過ごしやすい気候での運動会でした。

去年までは娘一人だったのが、今年は息子も一緒に運動会。準備やトイレへ連れて行きながらも、何とか二人の競技を全て見ることができました。

娘が年少のときは、どんなダンスなのか教えてもらった覚えがあるのですが、息子は一切なく聞いても練習をしていないと言い続けていました。不安を感じながらの当日。オープニングの様子から、さらに大丈夫か！？と心配になりました。しかし、はっきりとした元気な返事をし、全力で走り抜けたり楽しそうに踊ったりする姿を見ることができました。とてもかっこよかったです。

娘にとっては幼稚園最後の運動会。8段を跳びたいとずっと前から意気込んでいました。家でも、ソファにクッションを重ねて跳び箱の練習を何度も何度も繰り返していました。娘の強い思いを感じました。1回目の段合わせでは、うまくいかず悔し涙を流したと聞きました。その後も、何度も練習をしたり、先生たちにアドバイスをされたことを私に教えながら確認をしたり、

上手な友達がどうしてうまくいくのか考えたり…娘の頑張りには何度も驚かされました。最後の段合わせの日は、朝から緊張していました。靴選びから悩み、助走の練習をしてから、全力で頑張ってきた、と送り出しました。

その結果、目標にしていた8段に成功。悔し涙が嬉し涙に変わりました。娘の頑張り感動したと同時に、娘にこのような思いを経験させてくださった先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。また、その娘の成功と一緒に喜んでくれた先生方。たくさん寄り添い、励まし続けてくださり、ありがとうございました。

当日の朝は、原町幼稚園のYouTubeを見ながら娘とソーラン節の朝練。これまで教えてもらったこと（膝を曲げるところなど、細かなところまで教えてくれました。）の復習をしました。

会場に到着してからは緊張をしていたようですが、いざ始めると、オープニングからエンディングまで、全力で楽しむ娘の姿を見ることができました。

帰りの車の中や帰宅後、2人で衣装を着て踊ったり自分たちがやった踊りを教え合ったりしていました。私たちが親にとっても、とても楽しく充実した日々でした。本当にありがとうございました。

保護者のみなさま、運動会のご協力ありがとうございました！！心配されていたお天気もみんなの願いが通じ無事に予定通り開催できました😊

運動会の感想もたくさん提出頂き、ありがとうございました。感想を読ませていただくと、運動会本番までに一人一人家庭でも紆余曲折いろいろなストーリーがあり、保護者の皆様もドキドキワクワクした運動会だったのかなーと思いました♪

また感想の中に皆様から職員への温かいお言葉がたくさんあり、職員一同胸がいっぱいになりました。

今回のらっばでは運動会の感想用紙の中からピックアップしてご紹介したいと思います！



※大道芸見に来てくれた人もありがとう
会ったり見かけたらぜひ声かけてね♪

（最近知ってる人少ないかもですが、静岡の大道芸のとき、ボランティアでクラウン（ピエロ）やったりします😊）byユービー（マノ）

運動会の開催ありがとうございました。先生方お疲れさまでした。

少し当日の感想から外れてしまいましたが、先日〇〇の小学校のリレー大会がありました。〇〇は原町イズムを忘れず真剣に取り組んでいましたが、真剣に走っていない（ように見える）子も何人かいました。ただの推測ですが、チームが負けないように真剣に走るという経験をしていない子なのかなと思いました。仲間のために真剣な顔で前を向いて必死に走るという経験をしない子は今の時代多いのかもしれませんが。先生も子供も、みんなで勝つために取り組んだ経験はとてもありがたいものなんだなと感じました。〇〇の最後の運動会、リレーだけでなくすべての種目に真剣に取り組んでいて、その姿を見て本当に感動しました。ソーラン節をしっかり踊っている姿を見て改めてにじみさんなんだと感じが大きくなっとなあと感慨深くなりました。リレーはほんとにドラマチックでしたね。後から応援の声がうるさかったと〇〇からクレームがありました。親も全力で応援しましたし、涙が止まりませんでした。

先生方も大変かとは思いますが、これからも子供たちが全力で取り組める環境を維持してもらいたいです。素晴らしい運動会ありがとうございました。

今年も運動会の開催、ありがとうございました&運営、大変お疲れ様でした。

本人も当日をととても楽しみにしていたようで、前日の夜なども「明日は～元気もりもり～運動会～♪」とウキウキ気分ですっと口ずさんでおりました。

昨年、息子が年少組だった頃の運動会を拝見した際、その時の年中さんの演技のレベルの高さに驚き、あと一年で果たしてここまで出来るようになるの??と不安を感じておりました。

しかし今年の子供達の堂々とした演技を目の当たりにして、その不安が大きな感動に変わりました。園児たち一人一人が自ら素敵な演技を作り上げたい!という自発性の気持ちや、皆と一緒に上げるんだ!という団結の気持ちが子供達の振る舞いから感じられ、昨年から一回りも二回りも大きく成長したんだなと実感できました。

みんな、キラキラかがやいてステキだったよ!これもいつも園児たちと真剣に向き合って下さり、成長を見守って下さっている先生方のご指導の賜物だと感じております。



当日参加でき良かったです。

今回の運動会では娘の成長を沢山知りました。はらまちサーキットではその日1番の大きな声で先生を応援し、

「先生にギュッてしたい」ともじもじしながらギュッてしてる姿。

ジャンプジャンプゴーで最後までゴール出来た姿先生に呼ばれキチンと列を作り並べる姿。

色々な事ができるようになったし、感じるようになってきたんだなと改めて実感しました。

何より先生達が誰一人として疲れた顔や仕草を見せずに(準備やなにやら連日疲労困憊なハズなのに…🥲)

運動会を楽しんでいて、だからこそ子供たちも皆楽しく過ごせたんだろうなと思います。

来年の運動会はまた一層色んなことができるようになったみんなを観るのが楽しみです😊

運動会の練習、運営準備等ありがとうございました。かけっこもダンスも心から楽しんで取り組んでいる様子が、娘の姿から伝わってきました。友達と一緒に挑戦したり、楽しんだり、家庭だけではできない貴重な体験ができていることに日々感謝しています。

先生たちのときに一緒になって全力で身体を動かしたり、ときに黒子になって支えたりと、細部にまで配慮してくださったおかげで、子どもたちの活躍をたくさん見ることができました。



すごく良かったです。

子供たちが頑張ってる姿をみられて、さらに他のパママとも一緒に競技できて最高に楽しかったです。

準備してくださった先生方ママミーさん達に感謝です。

初めての運動会。親の方がドキドキで迎えた当日。オープニングの歌やダンスは体を横に揺らし、ダンスもノリノリ!バッチリでした👍かけっこは、カラーボックスの上に立ち元気よく「はい👏」のお返事。客席の方まで聞こえてきました♡小さいながらも、手を振り前を見て一生懸命走る真剣な姿にほっこり👏家でビデオ鑑賞をすると、名前を呼ばれる前に大きく深呼吸していた娘😊緊張しながらも頑張ったんだなあ～とジーンとしちゃいました😊😊

家でもよく踊っていた👦ダンスは入場から👦になりきり、堂々と踊る姿に安心して見ていられました👦小さな手足を大きく動かし、ジャンプしたりととても可愛かったです👦年少さん向けの覚えやすい振りで、良かったです👏退場まで👦になりきり、笑っちゃいました👏よくがんばりました～🌸

姉の方へに行ったり来たりで、なかなかそばにいる事ができなかったのですが、まわりの方たちにフォローして頂いたおかげで、全てのプログラムを全力で楽しむ事ができました😊来年も楽しみです!先生方、ありがとうございました!

わがばさん結婚おめでとう！

2024年9月15日、原町幼稚園と原町保育園のみんなに祝福されて、めでたく結婚式を挙げました！

披露宴では
2人の出会った
ゲームのキャラ
に扮して登場！

おめでとうを
いっぱい
もらった
フラワー
シャワー

もうおわっちゃうの？
さびしいぜ
ありがとう！

みなさん、ありがとうございました！
これからもよろしくおねがいします！

ゆうき先生
おいわいのことば

ビートに乗せて
盛り上げてくれ
たダンスチーム
ありがとう！

2024年10月5日、成美先生と凌太さんの
結婚式は、山の上のひっそりとした瀟洒な館で
家族や友だち、身近な方々を招いて
ニコニコ笑顔がいっぱいのかけがえのない素敵な時間、
それは二人の人柄に包み込まれるような温かいひとときでした♡



年長のみんな！
プレゼントをありがとう！
大切にするね♡



かんぱーい！



なるみ先生の家族
弟と父と母♡
とっても仲のいい稲葉ファミリー♡



お祝いに駆けつけた
原町幼稚園のメンバーと♪
式場がコンパクトなので
精鋭5名駆けつけました(´o´)



リラックス～
リラックス～



これからも
よろしくお願いいたします。

あのチカラ

あのチカラは一体なんなのだろうか？

運動会の練習を始めた頃は、走ることに興味のなかった子どもも、本番では目をキラキラさせてかけっこしたり、競走の意味もわからなかった子どもが、見たこともないような真剣な顔でバトンをつないでいく。

まったく跳び箱に興味がなく、ぜんぜん跳べなかった子どもが、ほんの僅かずつ練習に参加して次第に跳ぼうという意欲を見せていく。もともとヤル気のあった子どもは、目標を持ってより高みを目指して日々自主的に、というより先生におねだりして跳び箱を出してもらうほど熱烈に跳んだ！

腰を低く落としてソーラン節、何回もスクワットをした花笠音頭。ここで足腰の強弱がつまびらかになったりするけど、足腰が弱い子どもにとっては、なかなかの苦行だったにちがいない。それでもカッコよく踊りたくて一生懸命取り組んでいた。

運動会の感想を読ませて頂いても、ウチの子がまさか（こんなに頑張る気持ちを持っているとは）…という感想がいくつもあった。そんな意外性も見せてくるほど子どもたちの成長が見られた運動会。家に帰っても家族と一緒に練習をやっている姿も伝えて頂き心から微笑ましく感じられた。

兄姉がいて運動会への期待が高い子どもは「自分の番だ！」とモチベーションが上がるのはわかる。でも子どもたちの中には、まったくそんな意識もなく、運動は苦手で、ひとことで言ってヤル気の出ない子も一定数いる。そんな人たちも巻き込んで、文字通りみんなが“げんきもりもり運動会”に主体的に関わり、楽しむことができた。

どこが子どものターニングポイントになるのだろうか。

強要するのでもなく、まして脅かすわけでもなく、取り引きでもなく義務感でもなく、誘い、とことん励まし時に熱く鼓舞する。

できることを信じてつき合う。

そのうえ、誘い方も励ましも絶妙に子どもの琴線をやさぶるのだ。

そして、子どもが一步踏み出したときには全身で喜びを爆発させて歓喜の渦で包み込む。周りの子どもも、その渦に巻き込まれていく…。

近頃は、子どもの“自主性”を尊重しようという風潮が高まっており、ギューギューやらせるのは御法度みたいな雰囲気保育の世界に漂い始めている。極端に言うなら「子どもがやりたくないって言っているのでやめときまーす」ということが成り立つ世界。そんな保育だったら楽チンだろうね。ただし、子どもたちが自ら引いた境界線を超えてターニングポイントに出会うこともないだろう。

仕事という範疇を超えたエネルギー？

ややもすると親より強烈な願い

クラスの子どもは自分の分身か！？

詰まるところパッションなのか！

そんなチカラに原町の子どもたちは育まれている。

園長 鶴谷主一



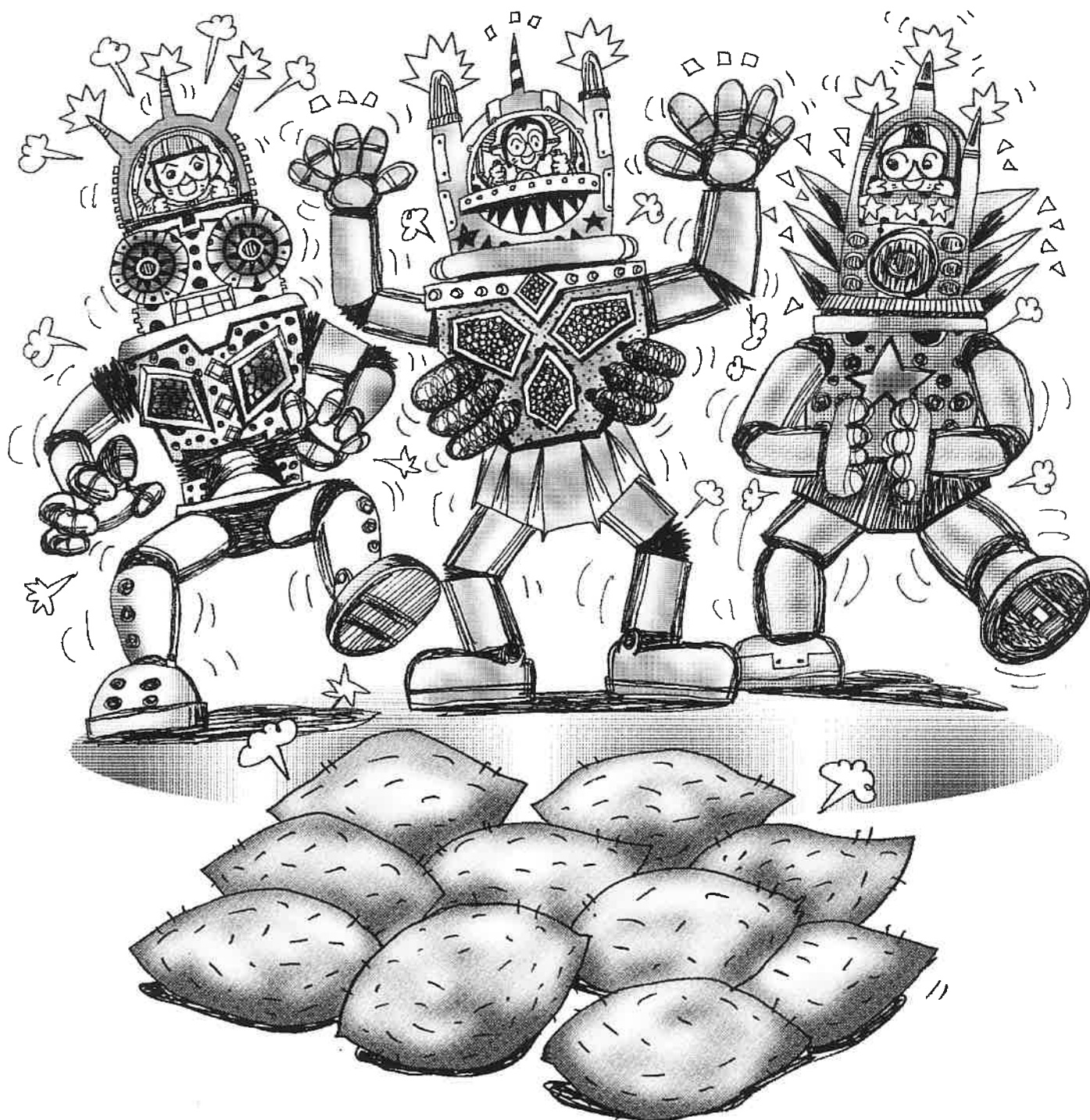
Haramachi

はらまちようちえん編集・発行

410-0312 静岡県沼津市原199の1
phone 055-966-7338 fax966-7370
<http://www.haramachi-ki.jp>

CLASS

NAME



こわいこわい おばけを かきましよう

こどものはらっぱ 11月号

くみ／なまえ

